

加賀沿岸流域下水道（大聖寺川処理区）の令和4年度管理状況

様式 1

施設所管課	土木部都市計画課
施設管理者	(株) トスマク・アイ
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
中期経営目標 (R3～R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水質を達成します。 ・1m³あたりの汚水処理に要する電気量を削減します。 ・普及啓発者数の増加に努めます。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・放流水質に自主管理目標値を設定し、水質の維持に努めている。 ・水質管理目標と薬品注入率をバランスよく設定し、二軸管理に取り組んでいる。
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図ったうえで、施設見学と出前講座等を併用して実施した。

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
特になし

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1 年度平均 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R5年度 (目標値)
(1) 放流水質達成率 (%)	100%	100%	100%	100%	100.0%	100.0%	100%
(2) 電気量 (kWh/m ³)	0.435	0.450	0.428	0.440	102.8%	101.1%	0.431
(3) 普及啓発者数	260人	0人	149人	245人	164.4%	94.2%	260人

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
放流水質達成率	増減なし	増減なし
電気量	汚泥量を抑制するため、発電に使用する消化ガスを消化タンクの加温に使用したことから発電量が減少した	同左
普及啓発者数	R2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設見学を中止したが、R3年度よりリモートによる出前講座を実施し、R4年度はリモートに併せて施設見学も再開した	同左

<利用者アンケート結果>

該当なし

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	清掃業務 随時
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質試験 毎日 ・ 計装設備保守点検 年1回 ・ 消防設備保守点検 年2回 ・ 脱硫剤交換 随時 ・ 日常点検 毎日 ・ 電気設備保守点検 年1回 ・ 空調設備保守点検 年2回 ・ 脱臭設備活性炭交換 随時
(3) 植栽維持管理	植栽管理業務 随時
(4) 警備	該当なし
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備修繕工事 ・ 計装設備修繕工事 ・ 電気設備修繕工事

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間事業計画書に災害時の対応、体制を整理 ・ 下水道事業業務継続計画（地震災害版）を策定 ・ 緊急時対応訓練を実施 年4回
(2) 個人情報の管理状況	基本協定（第21条 個人情報の保護）に基づき、適正に管理している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

該当なし

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

該当なし

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	211,632	運転管理費	74,834
		光熱水費	42,549
		材料費	3,324
		修繕費	6,591
		整備保全費	43,021
		その他	41,313
合 計 ①	211,632	合 計 ②	211,632
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

該当なし

7 事故、故障等

該当なし

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・一部水質試験を追加して実施する等、水質管理を強化した。
(2) 施設等の維持管理	B	・スマートデバイス、熱画像カメラやベアリングチェッカー等を活用し、機器の状態を確認し異常の早期発見に努めた。 ・資格の取得支援等を行い、職員のスキル向上に取り組んだ。
(3) 管理運営体制	B	・安全活動等を実施し、事故の未然防止に努めた。
総合評価	B	施設の設置目的に合った、優れた管理運営がなされている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし